

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野アートラインを巡り、AR(拡張現実)を体験しよう
事業主体 (連絡先)	安曇野アートライン推進協議会 事務局: 安曇野市商工観光スポーツ部観光課
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大(ア 特色ある観光地づくり)、(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	602,616 円(うち支援金: 456,000 円)

事業内容

北アルプス国際芸術祭2024の開催期間(9/13~11/4)に合わせ、安曇野アートライン推進協議会加盟館の美術作品や建物等を対象としたAR(Augmented Reality:拡張現実)作品を制作し展示した。

- ・AR作品17点の制作および展示
- ・作品内容は芸術祭に関連したものとし、アートライン協議会と芸術祭双方での宣伝を実施
- ・参加美術館では、芸術祭のパスポート販売を実施し、芸術祭期間中に2館以上入館した方へ、オリジナルグッズを進呈



【AR作品の鑑賞】

【目標・ねらい】

- ①来館者の増加
- ②観光客の増加
- ③芸術文化への地域住民への啓発。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・作品内容を芸術祭に関連したものとし、アートライン協議会と芸術祭双方に周知することで、観光客が単館だけでなく他の館へも巡ることを促すことができ、各館の来館者が増加した。
- ・地域住民の地域における芸術文化への理解を深めることにもつながった。
- ・全国的にも珍しい、美術館におけるAR作品の展示による、これまでにない視点や角度から、作品の魅力や観光地の魅力をさらに高めることができ、当地域にとってモデル的な観光資源となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

- ・AR作品技術を広めるため、地域の子供達を対象としたAR作成教室等も検討するなど、より発展的な事業展開を目指していきたい。
- ・AR作品は常時展示が可能であることから、AR作品が今後増加していく事で、引き続き持続可能で発展的な観光地づくりに取り組んでいきたい。

※自己評価【A】

【理由】

- ・期間中の入館者数が目標を上回った。目標10%増→実績39%増
- ・統一した企画を実施したことで、観光客の周遊につながった。
- ・地域住民の芸術文化への理解が深まった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある